

VI. 海岸関係事業

平成19年度 補正予算のポイント

台風等の来襲に伴う高潮による災害防止対策として、老朽化が著しい海岸堤防の改築や離岸堤等の整備を促進するとともに、切迫する大規模地震対策として、海岸堤防の耐震補強や水門の遠隔操作化を促進します。

1. 平成19年度 海岸関係直轄事業費等一覧表

(単位:百万円)

項 目	平成19年度事業費			事業費計 (A + B)
	当初等 (A)	補 正		
		歳 出 (B)	(ゼロ国債)	
河川局関係海岸事業費	2,892	640	0	3,532
港湾局関係海岸事業費	1,470	0	55	1,470
海岸事業費計	4,362	640	55	5,002

注)※1:当初等には、実施計画変更分および12月までの追加配分(調整費等)を含む

※2:事業費計には、ゼロ国債は含まない

2. 平成19年度 海岸関係補助事業費一覧表

(単位:百万円)

区分	静岡県		愛知県		三重県		合 計	
	補 正		補 正		補 正		補 正	
	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債	歳出	ゼロ国債
河 川	0	(0)	60	(0)	30	(0)	90	(0)
港 湾	120	(0)	110	(0)	173	(90)	403	(90)
合 計	120	(0)	170	(0)	203	(90)	493	(90)

大井川港海岸利右衛門地区 離岸堤の整備（補助事業）

事業費 1.20 億円（歳出）

1. 事業箇所

静岡県志太郡大井川町利右衛門地先

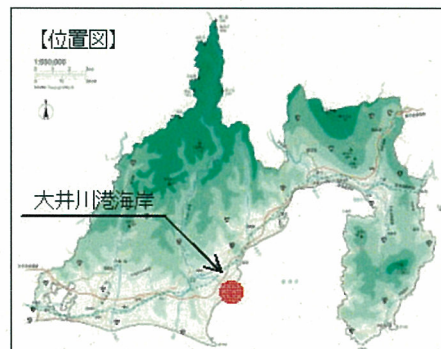
2. 事業概要

大井川港海岸は、背後地に石油・ガス関連基地や中小事業所が林立し、約50戸、220人の集落がある。台風時には既設防潮堤を越波し、平成9年度の台風20号では流木や砂利が打ち上げられる被害が発生するなど、二次災害も懸念されている。このため、補正予算により面的防護による防護機能を向上すべく離岸堤の整備を促進する。

- ①事業期間 : 平成16年度～平成19年度
- ②事業内容 : 離岸堤 L=150m
- ③全体事業費 : 約5.3億円

3. 整備効果

今回の補正予算により、離岸堤が完成する。これにより、台風や高波浪時における背後地域への越波被害に対する防護機能が発現する。



凡 例	
平成18年度迄 施工箇所	
平成19年度当初 施工箇所	
平成19年度補正 施工箇所	



【台風による越波状況】

1. 事業箇所

三重県松阪市、伊勢市、多気郡明和町

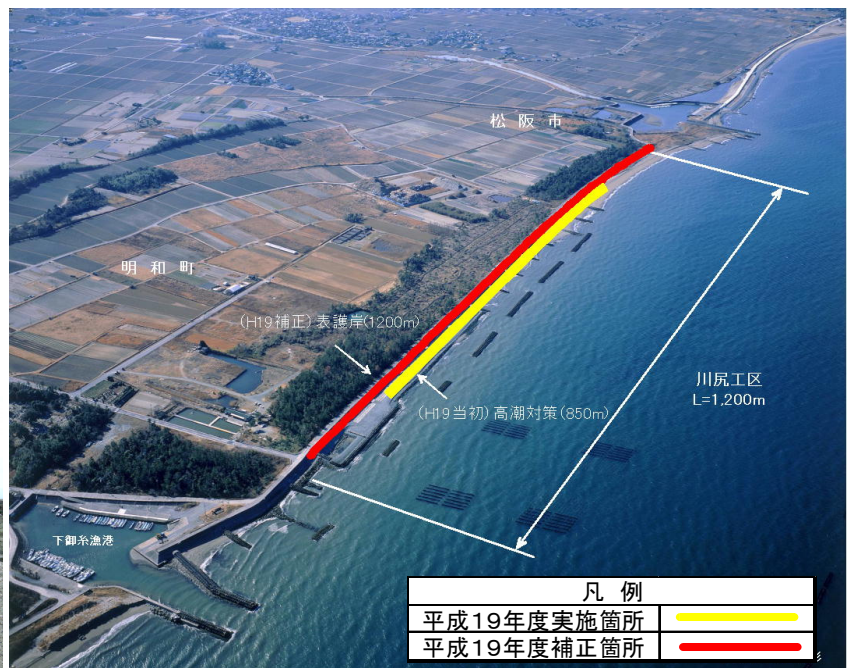
2. 事業概要

伊勢湾西南海岸の海岸堤防は築造後50年が経過しており、堤防内の空洞化、コンクリート劣化等の老朽化が著しい。高潮等により破堤等の重大災害が生じた場合には、背後地の松阪市、伊勢市、明和町において広域で甚大な被害が発生する恐れがある。

このため、高潮等に対する安全度の向上を図るため、堤防老朽化対策、耐震対策を実施する。

3. 整備効果

補正予算を活用し、海岸堤防の老朽化が著しい伊勢湾西南海岸川尻工区^{かわじり}において、堤防表護岸（L=1,200m）を整備し、高潮等に対する安全度の早期向上を図る。これにより、川尻工区の完成が1年短縮し、平成20年度の完成を目指す。



堤防老朽化状況（川尻工区）

津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業（直轄事業）

事業費 0.55 億円（ゼロ国債）

1. 事業箇所

三重県津市、松阪市地先

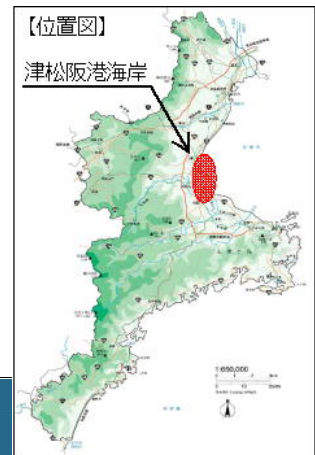
2. 事業概要

津松阪港海岸の既設護岸は、伊勢湾台風を契機に築造され、築後40年以上が経過し、海岸保全施設の老朽化や機能低下が著しい。また、発生が危惧される東海、東南海・南海地震によって地盤が液状化を起こす可能性があるなど、耐震性の強化も必要となっている。このため、補正予算（ゼロ国債）により背後地域の安全性を向上すべく護岸の耐震化を推進する。

- ① 事業期間 : 平成4年度～平成22年度
- ② 事業内容 : 護岸（改良）1式
- ③ 全体事業費 : 約237億円

3. 整備効果

今回の補正予算（ゼロ国債）により、津松阪港海岸松阪地区の完成予定時期が、平成20年度末から平成20年秋頃に早まり、半年早く当該地区の津波や高潮などの自然災害に対する防護機能が発現する。



凡 例	
当該事業実施箇所	
平成19年度補正箇所	

よつかいちこう
四日市港海岸 水門の遠隔操作化（補助事業）

事業費 0.23 億円（歳出）

1. 事業箇所

三重県^{よつかいち}四日市市

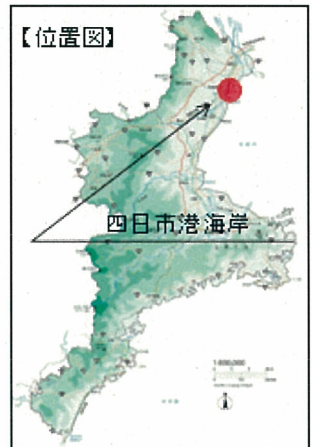
2. 事業概要

四日市港海岸は、東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されており、大規模地震に伴う津波に対する被害軽減が緊急の課題となっている。この津波に対して弱点となる陸閘や水門は、鋼製で重く、手動のため操作性が悪く迅速な閉鎖・避難の支障となっている。このため、補正予算により陸閘や水門を迅速に閉鎖し、避難時間を確保すべく陸閘のアルミ化および水門の遠隔操作化を促進する。

- ①事業期間 : 平成17年度～平成19年度
- ②事業内容 : 陸閘（改良）N=5基、水門（改良）N=2基
- ③全体事業費：約1.9億円

3. 整備効果

今回の補正予算により、水門の遠隔操作化が完成し、四日市港海岸の津波対策に係る施設整備（陸閘のアルミ化（5基）、水門の遠隔操作化（2基））は全て完成する。これにより、発災時には陸閘や水門を迅速かつ確実に閉鎖し、津波による背後地域の浸水被害を防止するとともに、避難時間を確保することが出来る。



凡 例	
平成19年度迄施工箇所	
平成19年度補正箇所	

ながしまこう にしながしま
長島港海岸西長島地区 堤防補強（補助事業）

事業費 0.30 億円（一般）

1. 事業箇所

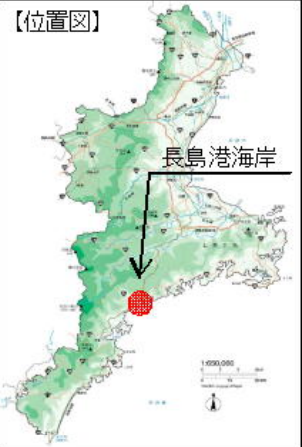
三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区長島

2. 事業概要

長島港海岸西長島地区の海岸堤防は、築造後40年以上が経過し、施設の老朽化が著しく、災害時には甚大な被害が懸念される。このため、補正予算により背後地の安全性を確保するため海岸保全施設の防護機能の向上を目的とした堤防補強等を促進する。

3. 整備効果

今回の補正予算により、長島港海岸西長島地区の堤防（L=743m）の内、約500mの補強が完成する。これにより、津波や高潮などの自然災害から背後地域への壊滅的被害を防ぐことが出来る。



凡 例	
平成18年度迄 施工箇所	黒色
平成19年度補正 施工箇所	赤色
平成20年度以降 施工箇所	緑色

【西長島地区現況写真（左：遠景、右：堤防のクラック）】